

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 1	1	百日咳	→ 1	1
RSウイルス感染症	↗ 128	82	ヘルパンギーナ	↘ 39	43
咽頭結膜熱	↗ 43	38	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗ 25	21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘ 20	23	急性出血性結膜炎	↘ 0	1
感染性胃腸炎	↘ 201	230	流行性角結膜炎(はやり目)	↗ 21	19
水痘	↘ 19	35	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 18	17	無菌性髄膜炎	↘ 0	1
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 3	0	マイコプラズマ肺炎	↘ 2	5
突発性発しん	↘ 45	62	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- RSウイルス感染症
- 突発性発しん

- 感染性胃腸炎は、報告数 201件(前週報告数 230件)と減少。地区別では、有明、山鹿、宇城に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の29件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- RSウイルス感染症は、報告数 128件(前週報告数82件)と増加。地区別では、熊本、有明、宇城に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の56件を最多に5歳以下からの報告です。
- 突発性発しんは、報告数 45件(前週報告数 62件)と減少。地区別では、人吉、山鹿、宇城に多く報告がみられます。年齢別では、6～11ヶ月齢の26件を最多に1歳以下からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	1	79	27	11	38	6	6		16	1	5	4		20				1
山鹿保健所					18				3			4	*	*				
菊池保健所		7	12	1	20		3	3	2		5	2						
阿蘇保健所					5								*	*				
御船保健所					2								*	*				
八代保健所		2			18	8	2		5		1							
水俣保健所		4		1	4				1		3		*	*				
人吉保健所		6		3	12	1			7		1		*	*				
有明保健所		22			54	1			3		2							1
宇城保健所		7	2	2	16	2	7		4		6	7		1				
天草保健所		1	2	2	14	1			4		16	8						
計	1	128	43	20	201	19	18	3	45	1	39	25	0	21	0	0	2	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
インフルエンザ	1													1							
小児科定点年齢	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上						
RSウイルス感染症	128	18	27	56	16	8	2	1													
咽頭結膜熱	43		2	8	3	7	4	3	3	6	6				1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20					1	3	5	2	1	1	1	3	3							
感染性胃腸炎	201	9	26	29	20	12	15	14	13	6	11	5	20	9	12						
水痘	19	1	1	7	6	3				1											
手足口病	18	1	2	8	4			2	1												
伝染性紅斑	3			3																	
突発性発しん	45	2	26	17																	
百日咳	1														1						
ヘルパンギーナ	39		3	6	11	7	4	4		2		2									
流行性耳下腺炎	25			1	4	4	3	5	5	1	2										
眼科定点年齢区分	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	21	1		1									2	1	4	9	1	2			
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	2		2																		
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 咽頭結膜熱：菊池
- ヘルパンギーナ：天草
- 流行性角結膜炎：熊本

RSウイルス
感染症が
急増中です!



今週も、RSウイルス感染症が増加しました。RSウイルス感染症は、冬季に流行する感染症ですが、今年は例年よりも早い流行の立ち上がりで、過去5年間の同時期と比べ最大の報告数となっています。今週は、特に熊本市で報告数が増加しており、先週の39件から倍増しました。年齢別では、2歳以下が9割を占めています。

症状は一般的に、鼻水、咳、発熱などいわゆる「かぜ」のような症状がみられ、1～2週間で軽快します。2歳頃までに、ほぼ全ての人がかかりますが、初めてかかった場合、約3分の1に細気管支炎や肺炎などを起こします。特に生後6ヶ月以内の乳児や、早期産で出生した乳児、循環器疾患のある乳幼児では重症化しやすいので注意が必要です。また、一度感染しても再び感染することもあります。

ウイルスは咳やくしゃみのしぶきから感染します。流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない、症状のある家族はマスクをする、外出後の手洗いをきちんと行うなど、乳幼児のいる家庭では、家族全員で予防しましょう。